

若者支援施設基礎調査（案）

調査手法	業務委託		直接実施	他調査活用
調査名称	施設利用者アンケート	支援者ヒアリング	他都市事例調査	若者意識調査
調査対象	若者支援施設利用者 2,000人程度	児相、児童養護施設、保護課、ステップ、障がい者支援機関、不登校・ひきこもり支援機関、定時制高校、フリースクール、わかものハローワーク、法務少年支援センター、活動協会等20機関程度	2～3か所	若者支援施設利用者 2,000人程度
調査方法	利用者アンケート方式（26問）	個別インタビュー方式	現地視察方式	利用者アンケート方式（8問）
調査目的	現施設の利用実態 施設に求める機能の把握	近年の困難の傾向、 支援の課題、ニーズ、 若者支援施設への期待の把握	先進的な施設・取組 の把握	若者の意識の把握 （R4年度内閣府調査等との比較）
調査内容	<p>※ 詳細 別紙のとおり</p> <p>①基本情報（利用施設、来館手段・時間、初回利用等）</p> <p>②貸室利用（目的、利用の決め手、類似施設利用状況等）</p> <p>③ロビー利用（目的、スタッフとの関係、施設満足度等）</p> <p>④相談支援・交流イベント利用（きっかけ、効果、類似利用）</p> <p>⑤施設に求める機能</p>	<p>①支援対象者の状況</p> <p>②支援内容</p> <p>③近年の傾向・変化</p> <p>④支援上の難しさ・課題</p> <p>⑤他機関等との連携状況（連携先・内容）</p> <p>⑥あればよいと思う支援</p> <p>⑦若者支援施設に期待する支援・役割</p>	<p>①建物・設備</p> <p>②事業内容</p> <p>③他の機関・施設との連携状況</p>	<p>①自分には自分らしさというものがあると思う</p> <p>②今の自分を変えたいと思う</p> <p>③将来よりも今の生活を楽しみたい</p> <p>④自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ</p> <p>⑤うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む</p> <p>⑥もし自分が何か困ったときには家族以外にも頼れる人がいる</p> <p>⑦どちらかと言えば、今の札幌は若い世代に対して優しい社会である</p> <p>⑧安定した収入さえあれば、実家から出て暮らしたい</p> <p>⑨出会いがあれば、結婚したい</p>
実施主体	企画：札幌市 調査票作成、集計：委託事業者 配布、説明：若者支援施設	企画、立会い：札幌市 実施、記録作成：委託事業者	札幌市	若者支援施設 ※利用者登録時アンケートを流用
実施時期	R6年7～8月	同左	検討中	R6年4月～8月頃